

平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 日本ライフライン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 鈴木啓介  
(コード番号 7575)  
問合せ先 取締役管理本部長 山田健二  
(TEL. 03-6711-5200)

### 薬剤溶出型冠動脈ステントに関する独占販売契約締結のお知らせ

当社は、本年 2 月 10 日に BIOTRONIK AG およびバイオトロニックジャパン株式会社と BIOTRONIK AG 製の「Orsiro (オシロ) 薬剤溶出型冠動脈ステント」に関する日本国内における独占販売契約を締結し、2018 年 3 月期第 4 四半期の販売開始に向けた準備を開始いたしましたのでお知らせいたします。

冠動脈ステントは、心臓に血液を送る血管である冠動脈が狭窄して発症する狭心症や心筋梗塞への PCI (経皮的冠動脈形成術) 治療に用いられる医療機器であり、ステントと呼ばれる金属製の網目状の筒を用いて、狭窄部の血管壁を内側から拡張し支えることで冠動脈の血流を回復させ治療します。薬剤溶出型ステントは、ステントの表面のポリマーと結合された薬剤が留置後に一定期間溶出し続けることで、ステントの留置後に再び血管が狭くなる再狭窄を抑制します。

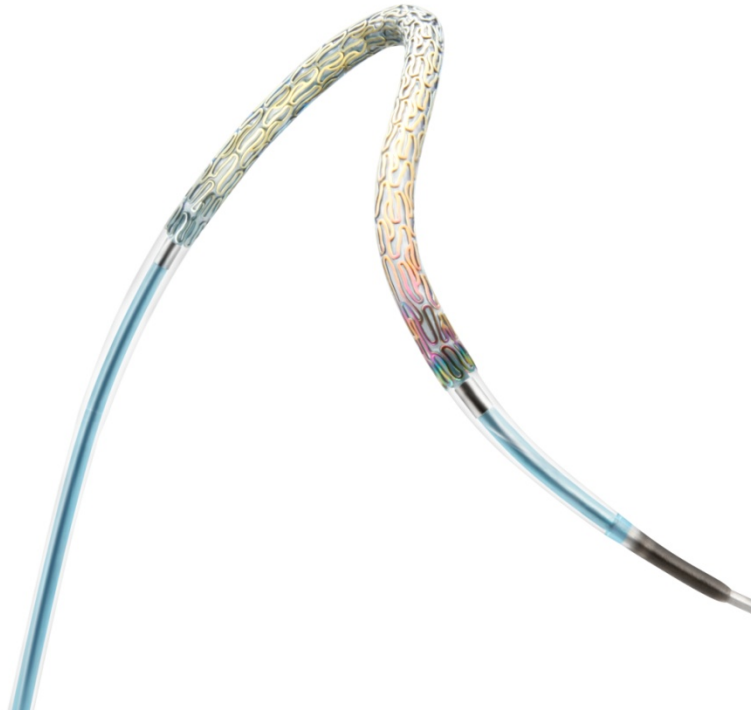
「Orsiro」は生体吸収性のポリマーを用いた第 3 世代の薬剤溶出型ステントであり、2011 年に欧州で販売が開始され、複数の臨床試験において優れた性能が示されております。「Orsiro」は再狭窄を抑制するリムス薬剤の溶出後に生体吸収される上層の「BIOLute」コーティングと、ステントの金属表面と周辺血管組織との間に起こる炎症の一因とされるイオンの溶出を抑制する下層の「proBIO」コーティングのハイブリッド構造を有しており、薬剤の溶出を理想的にコントロールすることにより再狭窄の抑制に寄与します。

また、これらのポリマーとコーティングが搭載されるステントは非常に薄く、その独自のデザインにより、耐久性と血管を支える力を損なうことなく高い柔軟性とデリバリー性を実現しており、血管壁の損傷を最小限に抑えることで長期的な予後の改善が期待されます。

今回の「Orsiro」の契約により、当社がこれまで取り扱ってきた自社製のバルーンカテーテルやガイドワイヤー等の製品ラインナップに、現在、PCI 治療において主流である薬剤溶出型冠動脈ステントが加わることとなり、PCI 治療における医療機器をトータルに提供できる体制となります。

当社は今後も、心臓循環器領域を専門とする強みを生かしながら、海外メーカーの優れた商品を国内に導入するとともに、医療現場のニーズを迅速かつ的確に反映した自社製品の開発を通して、患者様をはじめ医療現場が求める優れた医療機器を提供できるよう努めてまいります。

以 上



Orsiro (オシロ)薬剤溶出型冠動脈ステント

#### BIOTRONIK AG について

循環器領域の医療技術における世界のトップメーカーの1つであるバイオトロニック社は、ドイツ、ベルリンに本社を構え、100以上の国と地域でビジネスを行っています。バイオトロニック社の医療機器による治療を受けた患者数は数百万人に上ります。バイオトロニック社は、1963年にドイツ初のペースメーカーの開発を行って以来、不整脈治療領域や虚血性心疾患治療領域において、多くのイノベーションを生み出してきました。

#### バイオトロニックジャパン株式会社について

バイオトロニックジャパン株式会社は、ドイツ本社の心疾患治療技術をいち早く日本に導入するため、2003年10月に日本ビオトロニック株式会社として設立された日本法人です。2005年9月にバイオトロニックジャパン株式会社に社名変更しました。バイオトロニックジャパン株式会社は、“Designed for Japan, Made in Germany”を基本姿勢とし、日本の患者様の生活の質の向上を目指し、その高い技術力で、日本の医療従事者のニーズを反映した製品を届けています。